



広報

つくせん

たかた

2014年(平成26年)

4月1日号

No.934

開通式

◆巻頭

財政 平成26年度予算

◆人事

市職員配置一覧

◆巻末

食改レシビ

高田道路開通式

3月23日(日)、「三陸沿岸道路 高田道路」の開通式が行われました。
平成21年3月に「大船渡碁石海岸IC」から「通岡IC」まで3.4km
が供用開始され、それから5年間で「陸前高田IC」までの全7.5kmの工
事が完成しました。

県立高田高等学校の藤原奈々さんは、「この道路の開通には復興の力を感じ
る。たくさんの人を運び、陸前高田のまちと人々をつなぐかけ橋となってい
い」と述べてました。



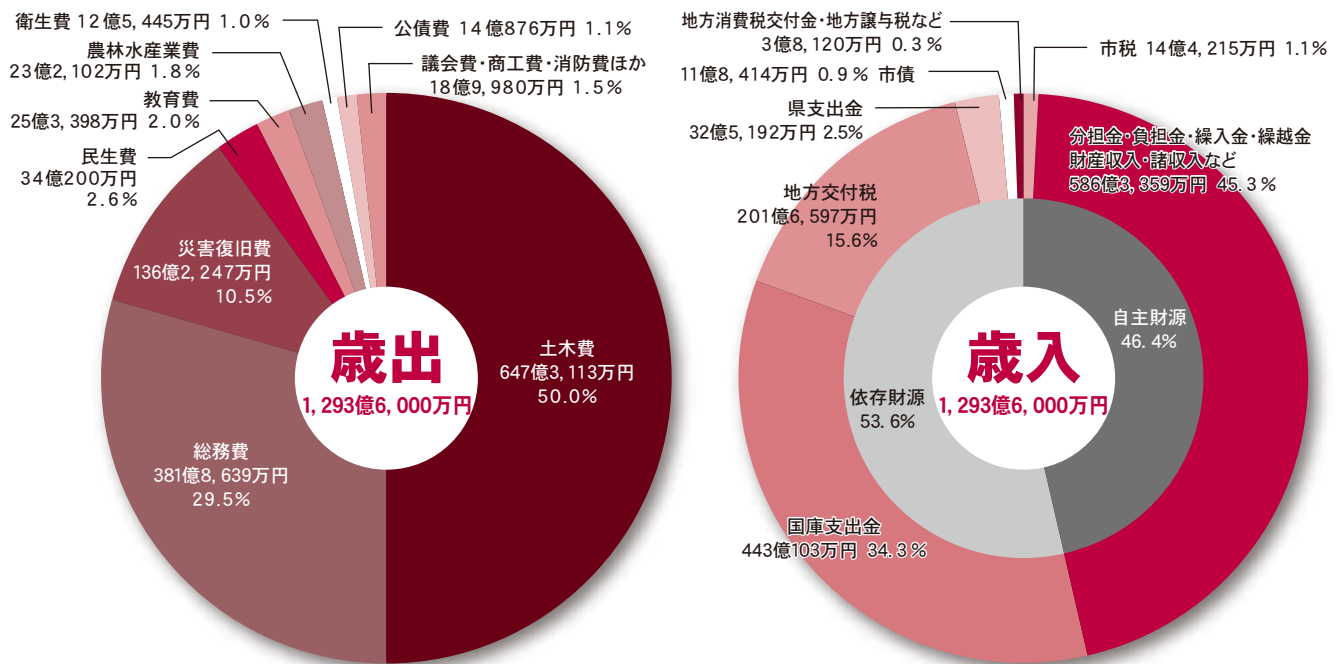


平成26年度予算

復興の加速化に向け過去最大規模の予算に

一般会計は対前年度比26.9%増の 1,293億6,000万円

平成26年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会第1回定例会で可決され、一般会計1,293億6,000万円、特別会計66億2,249万2千円、総額1,359億8,249万2千円を計上しました。本年度は、震災による税収などの大幅な落ち込みが続く厳しい財政状況の中、限られた財源を最大限に活用し、復興に向けた各種事業の加速化を図るための予算となっています。



歳入

自主財源は、600億7573万3千円（構成比46・4％）。前年度比で251億8490万3千円の増となりました。

これに対し、依存財源は692億8426万7千円と、前年度比で22億6409万7千円増加。内訳は、地方交付税が約54億円の増、国庫支出金が約22億円の減、県支出金が約15億円の減などとなっています。

市の借金にあたる市債は、前年度比で5億1915万4千円の増となっており、平成26年度末現在高では5555万円の減となりましたが、人口の減少により住民一人あたりの残高は約5万円増となっています。

歳出

歳出を目的別にみると、土木費が最も多く、全体の50・0％。次いで、総務費が29・5％となっており、復興にかかるインフラ整備関連予算が大半を占めています。

重点事業として、市震災復興計画に基づく「第1 災害に

一般会計予算の概要

強い安全なまちづくり」では、消防団拠点施設災害復旧事業費に9226万円。

「第2 快適で魅力のあるまちづくり」は、今泉地区土地区画整理事業費が202億5824万円、高田地区土地区画整理事業費が193億9778万円と、区画整理に関する予算が増加しています。

「第3 市民の暮らしが安定したまちづくり」では、防災集団移転促進事業費が132億6935万円、高田東中学校の新校舎建設に伴う中学校施設災害復旧事業費が14億7433万円。

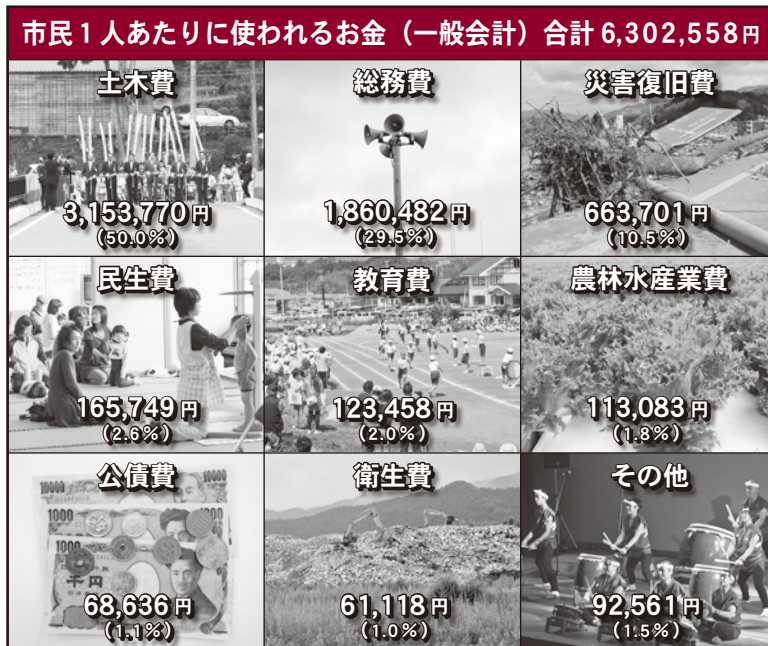
「第4 活力あふれるまちづくり」は、農林水産業・商工業の振興策で、被災地域農業復興総合支援事業費が14億9251万円、中小企業被災資産復旧事業費が1億4000万円。

「第5 環境にやさしいまちづくり」では、小学校再生可能エネルギー等導入事業費が6000万円。

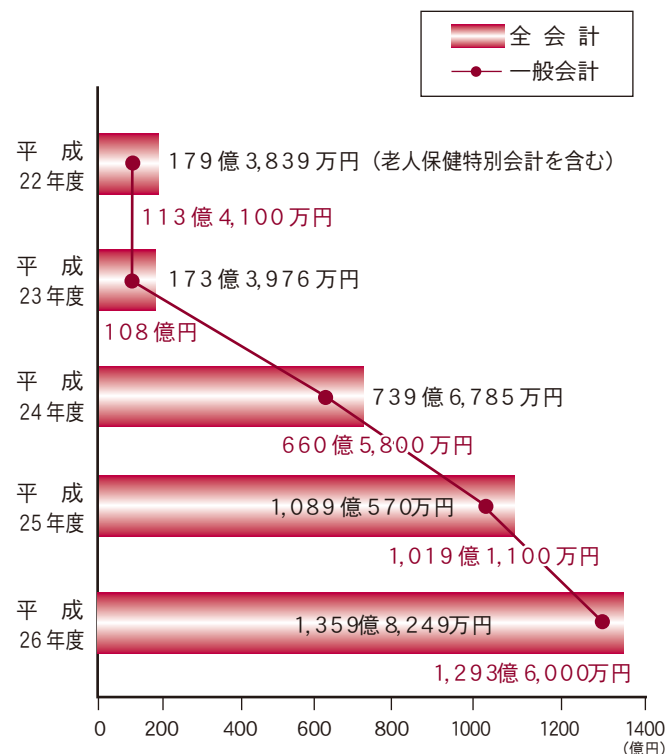
「第6 協働で築くまちづくり」は、市民文化会館等の建設に伴う社会施設災害復旧事業費が4186万円となっています。

予算額を市民1人あたりに換算すると…

(2月28日の住民登録人口20,525人)



■予算規模の推移



【財政用語】

▽特別会計：特定の事業を行う場合や特定の歳入歳出を充てる場合に、一般会計とは別に収支整理を行うもの

▽自主財源：市税や各種使用料など市単独で収入できるもの

▽依存財源：国や県からの交付金や借入金など

▽地方交付税：市の財政力に応じて国から交付されるもの

▽臨時財政対策債：地方交付税の不足に伴い、代わりに一般財源として発行可能な特別の地方債（償還に要する費用は交付税措置される）

■一般・特別会計の予算額

会 計 名		平成 2 6 年 度	平成 2 5 年 度	伸 び 率 (%)	
一 般 会 計		1,293 億6,000万円	1,019 億1,100万円	26.9	
特 別 会 計	下 水 道 事 業		6 億8,812万円	14 億2,326万円	△51.7
	農 業 集 落 排 水 事 業		6,035万円	6,036万円	△0.0
	漁 業 集 落 排 水 事 業		7,160万円	6,307万円	13.5
	国民健康保険	事 業 勘 定	28億8,917万円	28 億2,332万円	2.3
		診 療 施 設 勘 定	2 億2,032万円	2 億1,581万円	2.1
	後 期 高 齢 者 医 療		1 億8,974万円	1 億8,890万円	0.4
	介護保険	保 險 事 業 勘 定	24 億9,199万円	22 億731万円	12.9
		介 護 サービス 事 業 勘 定	1,120万円	1,267万円	△11.6
	特 別 会 計 合 計		6 6 億2,249万円	6 9 億9,470万円	△5.3
合 計		1,359 億8,249万円	1,089 億570万円	24.9	

一般・特別会計の予算額（1万円未満を四捨五入）

平成26年度 市職員配置一覽

◆ 理事／部課長級の昇任

※（ ）は異動前の職名

▽理事



理事
(企画部長兼企画政策課長
兼まちづくり戦略室長)
菊池 満夫 (61)

▽部長級



民生部長兼社会福祉課
長兼被災者支援室長
(民生部社会福祉課長兼被災者支援室長)
菅野 利尚 (58)



農林水産部長兼農林課長
(議会議務局長)
千葉 徳次 (55)



都市整備局長兼市街地整備課長
(建設部都市計画課長)
山田 壮史 (48)



復興対策局長兼事業推進室長
(総務部財政課長)
熊谷 正文 (54)

▽課長級



消防長・消防司令長
(民生部健康推進課長)
佐々木 誠 (56)



企画部商工観光課長
(復興対策局長補佐兼計画係長)
村上 幸司 (48)



民生部健康推進課長
(教委生涯学習課長補佐兼スポーツ推進係長)
伊藤 真基 (50)



都市整備局市街地整備課主幹兼課長補佐
(復興対策局事業推進室長補佐兼事業推進係長)
伊賀 浩人 (51)



都市整備局都市計画課長
(建設部都市計画課長補佐兼計画係長)
阿部 勝 (53)



議会議務局長
(総務部総務課長補佐兼防災対策室長補佐兼選挙管理委員会事務局長補佐)
戸羽 良一 (51)



監査委員事務局長
(民生部健康推進課長補佐兼保健係長)
岩崎 利行 (52)



教委教育施設整備室長
(教委学校教育課長補佐兼管理係長)
中山 雅之 (49)

市職員の人事異動が発表されました。平成26年度から、市街地整備課と都市計画課で構成される「都市整備局」を新設し、また、教育委員会内に「教育施設整備室」を新たに設置しています。復興計画の第2期「復興展開期」に入る「正念場の一年」として、市民の皆さんが復興を実感できる1年になるよう、効果的な行財政運営に努めていきます。

消 防 本 部

消防長 消防司令長 佐々木 誠 警防係長 消防司令 金野 隆博 警防係 消防士長 丹野 賢
消防次長 消防司令 村上 信幸 予防係長 消防司令 戸羽 進
管理係長 吉田 幸喜 通信指令係長 消防司令補 及川貴美人

消 防 署

署長 消防司令(兼) 村上 信幸 副署長 消防司令(兼) 戸羽 進 副署長 消防司令(兼) 金野 隆博

管理係

係長 消防司令補 黄川田英児
主任 " 佐藤 浩樹
消防士長 戸羽 一将
" 岡渕 健悟
" 佐藤 浩二
消防副士長 菅野 伸
消防士 遠藤 翼
" 芳野 亮人
" 残間 優貴

警防係

係長 消防司令補 小松 勲
主任 " 佐々木秀樹
主任 消防士長(兼) 丹野 賢
消防士長 村上 悦朗
" 後藤 道治
消防副士長 松坂 享
" 金野 剛憲
消防士 菅野 祥之
" 佐藤 宏樹
" 新沼 心☆

予防係

係長 消防司令補 岡田 雅彦
主任 " 熊谷 欽也
消防士長 長尾 英樹
" 村上 桂一
" 伊藤 章尋
" 村上 祐二
消防副士長 権藤 雄
" 新沼 宜徳
消防士 菅野 裕樹
" 菅野 臺 和敬

※赤色は異動者(昇任を含む)。(兼)は兼務、(復)は復興庁、(県)は若手県(任期付含む)、(盛)は盛岡市、(関)は一関市、(奥)は奥州市、(八)は八幡平市、(平)は平泉町、(住)は住田町、(北)は北海道、(美)は美唄市、(桐)は桐生市、(本)は本庄市、(福)は福川市、(台)は台東区、(蔵)は武蔵野市、(我)は我孫子市、(鉾)は鉾田市、(神)は神奈川県、(大)は大和市、(茅)は茅ヶ崎市、(甲)は甲斐市、(名)は名古屋市中、(小)は小牧市、(鯖)は鯖江市、(松)は松本市、(京)は京都市、(丹)は丹波市、(池)は池田市、(和)は和歌山市、(戸)は神戸市、(江)は松江市、(福)は福岡市、(武)は武雄市、(鹿)は鹿島建設、(国)は国境なき技術団、(リ)はリクルートからの派遣、(再)は再任用、(非)は非常勤職員、★は新採用職員。

1 号棟 2 階			
理 事 菊 池 満 夫 (再)			
財 政 課 課 長 堺 伸也 課長補佐兼財政係長 細谷 勇次 財政係 主 任 佐々木 修 (県) 主任主事 村上 正一 主 事 木村 麻衣 管財係 副主幹兼管財係長 佐々木清敏 主 任 三浦 昭一 " 荻原 秀一 主 事 鈴木 大悟 (県) " 金野 晴樹☆	総務課 (職員係) 部長兼課長 須賀佐重喜 課長補佐兼職員係長 伊藤 芳光 職員係 主任主事 阿磨 宏 " 佐々木伸哉 主 事 前角地邦幸 " 小泉 剛志 " 菅野 絢子	防災対策室 室 長 佐藤 由也 室長補佐 (兼) 伊藤 芳光 主 事 中村 吉雄 (県) 総務課 (行政係) 係 長 畠山 幸也 主 事 穂苅 英昭 (県) " 佐藤 真美	企画政策課 部長兼課長 蒲生 琢磨 課長補佐兼秘書係長 村上 知幸 政策推進係 係 長 佐藤 彰 主 事 齋藤 卓 " 小野 勝彦 (県) 秘書係 主任主事 石川 聖恵 まちづくり戦略室 室長 (兼) 蒲生 琢磨 室長補佐 熊谷 重昭 副 主 幹 佐々木敦美 主査 (兼) 佐藤 彰 主 査 三沢 行弘 (大) 主任主事 大西 正基 (松) " 及川晃一郎

1 号棟 1 階			
税 務 課 課 長 佐藤 伯一 課長補佐兼資産税係長 尾形 良一 市民税係 係 長 佐々木英治 主 査 廣瀬 弘忠 (我) 主 任 山本 化文 (関) 主 事 望月 孝 (県) " 菅野 圭裕 " 佐藤 麻衣☆ 資産税係 主 任 村上 充 主 事 岩渕 大士 (関) " 山田 和寛 (県) " 高橋 純基 収納係 係 長 中川 健司 主 事 小野寺 俊英 (平) 主 事 補 佐藤 直樹	会 計 課 会計管理者兼課長 菅野 道弘 審査主査 小島 裕恵 (関) 主 任 千葉 祐子 主 事 水野 慎 " 佐藤 綾	市民環境課 課 長 大和田 正 課長補佐兼市民係長 菅原 正弘 市民係 主 任 戸羽 弘 " 佐藤 恵子 " 藤井 剛 (住) " 塚越 雅之 (盛) 主 事 村上利恵子 " 菅原由紀也 " 向久保智彦 (八) 環境安全係 係 長 金濱 幹也 主 査 瀧澤 克昌 (北) 主 任 青山 豊英 (岩手沿岸南部広域環境組合派遣) 主 事 河合 元 (県) 主 事 補 三浦 淳	健康推進課 (国保係) 国保係長 臼井 秀子 主 査 土居 厚子 (京) 主 事 横山 千佐 主 事 補 菅野 郁恵☆ 広田診療所 所 長 近江三喜男 副主幹 熊谷 紅子 看護師 鈴木菜央美 主 事 佐藤 広樹 二又診療所 所 長 泉田 亘 (県) 看護師 藤原 奈美 主 事 大坂 美緒

2号棟 2階

生涯学習課

教育次長兼課長 大久保裕明（県）
課長補佐兼スポーツ推進係長 高橋 一成
生涯学習係
係長 吉田 志真
主査 西岡 誠司（神）
" 阿部 敬生（"）
" 加藤 隆也（福）
主任 山路 隆久（和）
主任主事 桐木 亮（京）
主事 古館 俊一
" 吉田 悠
" 保科すみ江（県）
" 平松 千波（県）
学芸員 曳地 隆元
スポーツ推進係
主事 福田 寛（県）
主事補 新沼 都☆

教育施設整備室（新設）

室長 中山 雅之
室長補佐（兼）
高橋 一成
主査 森 光（県）
主任技師 四元 寛規（名）
技師 毛利 俊雄（県）
" 阿部 和也（県）
主事 芝 祐仁（県）
" 野崎 洋祐（名）
主事（兼） 水野 竜一

学校教育課

課長 伊東 孝志（県）
課長補佐兼管理係長 小笠原 淳
管理係
主査 八島 英男（台）
主任 千田 松雄（県）
" 細田 寛
学務係
副主幹 千葉 稔（関）
係長 鈴木 貴子
主任 富手 千秋（県）
主事 水野 竜一

図書館

館長 菅野祥一郎（非）
副主幹 長谷川敬子

学校給食センター

所長 菅野 光二
主任栄養士 畠山 夕子
主事 菅野 大樹
栄養教諭 小野寺きみ子（県）
" 村上 美和（県）

教育研究所

所長（兼） 伊東 孝志（県）
指導主事 熊谷 健司
" 河野 俊治
" 田代 英樹

博物館

館長 本多 文人（非）
副主幹 熊谷 賢

高田小学校主任用務員 千田あけみ
" 村上 淳一
気仙小学校主任用務員 小林 邦明
広田小学校主任用務員 佐々木千友
小友小学校主任用務員 佐藤 浩之
米崎小学校主任用務員 村上 達也
矢作小学校主任用務員 佐藤 文子

竹駒小学校主任用務員 村上 英也
横田小学校主任用務員 菊池 静
第一中学校主任用務員 高橋 純子
" 及川 克政
気仙中学校用務員 佐々木亮輔
高田東中学校主任用務員 木川田隆俊
横田中学校主任用務員 津田 忠

小中学校用務員

2号棟 1階

長寿社会課

課長 大和田浩之
課長補佐 高橋 良明
高齢福祉係
係長兼社会福祉士 馬場 勝基
主任 今野 幸彦（奥）
" 千葉 紀和（関）
保健師 蒲生 紋子 千葉 愛実
主事 菅野 文博
介護保険係
係長 岡渕 貴悦
主任主事 大和田昌利 後藤由香利
主事 志田 一郎（気仙広域連合派遣）
" 荒木 摩耶☆
地域包括支援センター
所長（兼） 大和田浩之
所長補佐（兼） 高橋 良明
副主幹 佐藤 咲恵
主事 奥村 真以子（県）

社会福祉課

少年センター
所長（兼） 菅野 利尚

社会福祉課

部長兼課長 菅野 利尚
課長補佐兼児童福祉係長 渡邊 雅宏
児童福祉係
主任主事 金野 暢
栄養士 佐藤 絵里
主事 金野 景
" 田村 美結
" 高橋 大将（住）
障がい福祉係
係長 佐々木賢也
主任保健師 伊藤 睦哲（関）
保健師 吉田 恵美
主事 大坂 沙織
主事補 北島善太郎☆

健康推進課（保健係）

課長 伊藤 真基
課長補佐兼保健係長 菅野 格
保健係
副主幹 菅野 わか
" 松木 祐子
主査 増田 美照（蔵）
保健師 遠藤 綾子
" 千葉 春香
" 菅野 成美
" 大橋 加奈（名）
" 村上 有紗☆
" 佐藤 沙希☆
栄養士 及川 智絵

矢作保育所

所長 佐々木美恵子
主任保育士 吉田 和枝
保育士 佐藤 志帆
主任調理員 村上えち子

長部保育所

所長 佐藤 修子
主任保育士 菅野 香
" 中野 亜紀
" 村上あゆみ
" 佐々木めぐみ
保育士 佐藤 颯太☆
主任調理員 村上 由紀

小友保育所

所長 藤井貴美
主任保育士 熊谷 公子
" 山田 美加
" 伊藤真知子
保育士 白山 理奈
" 熊谷千春 及川可奈子
主任調理員 村上 祐子

高田保育所

所長 佐々木利恵子
副所長 菅野 京子
主任保育士 佐々木宏枝 村上 雪絵 熊谷 由加
" 菅野 陽子 大友さおり
保育士 菅野裕美子 松田 純枝 吉田 恵
" 佐藤 泰子 川島 瑞穂 佐々木恵里
主任調理員 佐藤 夕子

3 号棟 2 階				
議 長 室	議 会 事 務 局	議会図書室	傍聴席	議 場
	局 長 戸羽 良一 局長補佐 千葉 恭一 主 任 佐々木真理 書 記 熊谷 卓			

3 号棟 1 階				
3 号棟 第 1 会議室	監査委員事務局	農業委員会事務局	被災者支援室	商工観光課
	局 長 岩崎 利行 主任書記 伊東 景子 選挙管理委員会事務局 局長(兼) 須賀佐重喜 局長補佐(兼) 伊藤 芳光 選挙係 係 長 佐藤 勝也	局 長 村上 弘人 局長補佐 黄川田芳昭 主 任 及川和浩(関)	室長(兼) 菅野 利尚 室長補佐(兼) 渡邊 雅宏 被災者支援主査 小野寺一典 主 任 佐藤誠司(盛) 主任主事 武田 知子 主 事 鈴木 彰(県) " 寺西達生(県) " 岡山達也(京) " 山田孝次(美)	課 長 村上 幸司 課長補佐兼商工労働係長 千葉 達 観光交流係 係 長 佐々木武晴 主 査 宮武 功(和) " 桑原祥作(リ) (5/1~) 主 事 熊谷 直樹 商工労働係 主 任 森 正文(武) 主 事 稲垣尚起(名) " 小澤 巧☆

【退職者】
◇総務部長兼総務課長 兼選挙管理委員会事務局長 細 川 文 規
◇民生部長兼長寿社会課長 兼地域包括支援センター所長 菅 野 直 人
◇都市計画課区画整理推進主幹 兼課長補佐 小 山 公 喜
◇都市計画課用地対策主幹 津 田 耕 節
◇消防長 消防司令長 岩 崎 亮
◇監査委員事務局局長 菅 野 裕 司
◇矢作保育所長 羽 生 洋 子
◇税務課副主幹 米 澤 雅 行
◇健康推進課主任主事 水 野 い ず み
◇建設課主事 菅 野 諒 太
【派遣終了】
◇教育委員会学校教育課長 菅 野 義 則

◆《嘱託職員》
◆総務課 ▽嘱託員 小山悦子、橋爪優子、臼井佳香
◆税務課 ▽徴収嘱託員 新沼敦 ▽嘱託員 熊谷敬子
◆長寿社会課 ▽要介護認定調査員 村上由美、菅野行江、松田公子 ▽介護予防指導員 伊勢知子 ▽監査指導専門員 松坂和彦
◆地域包括支援センター ▽介護支援専門員 志田初枝、村上寿美子
◆社会福祉課 ▽児童発達支援管理責任者 菅野常子 ▽子育て相談員 菅原実黄子、佐々木美津子、佐々木律子 ▽家庭児童女性相談員 三嶋孝子、菅野利恵子 ▽ふれあい教室指導員 前田貴子、村上明美 ▽家庭相談員 吉田ゆう子 ▽コミュニケーション支援員 佐々木尚子
◆被災者支援室 ▽生活再建相談員 阿部優子
◆健康推進課 ▽健康相談員 畠山澄子、佐藤加代子、松野京子、細谷あゆみ ▽レセプト点検員 近江仁美、及川直子 ▽嘱託栄養士 小林智子 ▽介護予防指導員 戸羽恩恵、荒澤愛美
◆広田診療所 ▽嘱託看護師 加藤和枝
◆二又診療所 ▽嘱託看護師 鈴木智子
◆市民環境課 ▽窓口相談員 阿部梨奈
◆農林課 ▽嘱託員 吉田光昭、吉田寛 ▽営農コーディネーター 鈴木金實
◆建設課 ▽嘱託員 菅野傑
◆農業委員会事務局 ▽農地相談員 佐々木公一
◆生涯学習課 ▽発掘調査員 遠藤勝博、後藤円 ▽社会教育指導員 吉田ハマ子、戸羽純子、佐々木亜紀、千葉翔子 ▽スポーツ指導員 高橋大輔
◆図書館 ▽司書 菅野千恵子 ▽嘱託員 佐藤幸恵、熊谷友宏、熊谷瑠理
◆博物館 ▽資料管理員 菅野春子、後藤悦子、砂田比左男、砂田亨、松田あや ▽学芸員 及川甲子、皆上小冬
◆教育研究所 ▽学校教育相談員 伊藤清子 ▽スクールカウンセラー 佐藤文子 ▽図書教育指導員 遠藤勝枝、千代川輝子 ▽外国語指導助手 ドーティ・シヨーン・ケネス
◆水道事業所 ▽嘱託員 鈴木加代、菅野輝貴

4号棟 3階

4号棟 第4会議室

4号棟 第5会議室

4号棟 第6会議室

4号棟 2階

市街地整備課（新設）

局長兼課長 山田 壮史
主幹兼課長補佐 伊賀 浩人
主 幹 藤原 正行（名）
区画整理係
係 長 高橋 宏紀 大友 真也
主 査 横手 謙蔵
" 三角伊知郎（福） 柴田 弘（名）
主 任 主 事 金野 幸浩
技 師 水落 義和（福） 岩田 裕康（名）
" 堀場 俊秀（名） 鶴澤信太郎（県）
" 福田 稔（神） 鎌田 吉隆☆
" （6／1～）
主 事 佐藤 賢 遠野 正隆
用地係
係 長 熊谷 和典（県）
主 査 北川 亮（福） 増山 博丈（大）
主 任 主 事 鐘ヶ江 仁（福）
技 師 三浦 耕三（復）
主 事 熊谷 剛 福田 香（県）
" 石井 格二（県） 佐藤 嘉嗣（復）
技術支援員 荒居 義次（鹿）

水 産 課

課 長 平 立身
課 長 補 佐 石川 浩
水 産 主 査 菅野 洋
技 師 小野寺 涉
主 事 佐藤 洋一（復）
" 大坂 貴樹
" 村上 智人
" 吉田 祐也
" 田宮 一樹
" 菅野 竜児☆

農 林 課

部長兼課長 千葉 徳次
課長補佐兼林政係長 山本 郁夫
農政係
係 長 村上 聡
主 任 西巻 孝志（関）
" 小森 剛志（丹）
主 任 技 師 及川 麻美
技 師 畠山 秀樹（県）
主 事 中山 竜一
" 田中 優賢
" 荒木 瑞恵
林政係
主 任 渡邊 富広（関）
技 師 佐藤 康人
主 事 松 夏生

4号棟 1階

建 設 課

部長兼課長 橋本 英雄
課長補佐兼管理係長 菅野 泰浩
課長補佐兼道路河川係長 菅野 誠
管理係
主 幹 田邊 久（銚）
主 査 赤澤 政文（甲）
主 事 補 細谷 怜史☆
道路河川係
主 査 菊池与志和（盛）
主 任 鈴木 圭（関）
" 永田 敏幸（江）
主 任 技 師 奥田 雅和（名）
" 伊藤 肇
技 師 遠藤 智嗣（県）
" 永澤 和久（茅）
" 金野 俊郎☆
技術支援員 齊藤 文男（鹿）
主 事 畠山 拓也（県）
" 尾形富寿雄
技 師 補 今野 拓也☆
住宅推進係
住宅推進係長 梅木 優
技 師 鈴木 敏明（復）
" 島越 康貴（県）
主 事 佐々木 崇

幹線道路対策室

室 長（兼） 橋本 英雄
室長補佐（兼） 菅野 誠
室 員（兼） 菅野 泰浩
" 佐々木 崇

都市計画課

課 長 阿部 勝
課長補佐兼下水道係長 千田 顕彦
計画係
係 長 永山 悟
主 任 立花 佳典（県）
技 師 齊藤 正俊（県）
主 事 若林謙一郎（県）
技術支援員 高橋 剛弘（国）
下水道係
主 査 吉村 俊行（本）
主 任 佐藤 良仁（関）
技 師 長野 貴治
" 横山 裕一（県）
主 事 菅野 隼

水道事業所

所 長 熊谷 完士
所 長 補 佐 菅野 敏明
所長補佐兼業務係長 佐藤 好信
業務係
主 任 主 事 戸羽 謙一
" 菅野 雅彦
主 事 阿部 将人
工務給水係
副主幹兼工務給水係長 及川 浩
主 任 技 師 新沼 和人
技 師 高橋 忠彦
主 事 高橋 拓也
" 小松 公輔

復興対策局

局 長 熊谷 正文
局長補佐兼計画係長 佐々木 学
局 長 補 佐 川村 守（県）
復興対策係
係 長 山口 透
主 任 主 事 大和田智広
計画係
主 事 佐々木 光

事業推進室

室 長（兼） 熊谷 正文
室長補佐（兼） 佐々木 学
事業推進係
係 長 菅崎 貴栄
主 査 南洲 修（池）
主 任 黒澤 裕昭
主 任 技 師 岡安 秋弘（名）
主 任 主 事 村上 幸義
技 師 古嶋 俊明（桶）
" 菊地 秀明（県）
" 菅原 康弘（県）
" 山中 雅仁（桐）
" 山田 龍

参加者募集！

adidas から
参加者に
日本代表ユニフォーム
プレゼント！

2014 FIFAワールドカップブラジル™

日本代表 vs コートジボワール代表を みんなで一緒に応援しませんか？

FIFAワールドカップは4年に1度のサッカーの祭典で、出場できるのは32か国のみ。2014年はブラジルで開催されます。

6月15日に陸前高田市で日本代表の初戦となるコートジボワール戦を大型スクリーンで観戦・応援するイベントを、FIFAワールドカップのスポンサー企業の共催により開催します。日本全国のサポーターと輪^(*)になって一緒に応援しましょう！

試合放送だけでなくさまざまなイベントが設けられる予定です。奮ってご応募ください。

(*) アディダスから参加者にプレゼントするサッカー日本代表ユニフォームを着ると、肩から背中に施された赤いラインが、円陣を組むことで一つの輪になります。

日時 6月15日(日) 午前10時(キックオフ)～正午(予定) 日本 対 コートジボワール

会場 陸前高田市立高田小学校 体育館

定員 300人 参加無料 ※受付は先着順

主催 アディダス ジャパン株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社、インリー・グリーンエナジージャパン株式会社

参加資格 陸前高田市に在住する人を申込代表者とし、1申込で4人まで申し込み可

・申込代表者は成人^(**)で、同伴者は開催日に4歳以上であること。

(**) 未成年のみの場合は親の同意書が必要

・マスコミ取材等で観戦風景がメディアに露出することにご了承いただける人

※重複申し込みはできませんのでご注意ください。

申込方法 ①専用申込用紙を以下の方法で入手し、必要事項をご記入ください。

・市ホームページ

・市役所総合案内窓口(市役所1号棟1階)

・円陣PV事務局へのご連絡

※ユニフォームサイズは、130/140/150/160/S/M/L/O/XO/2XOから選択可能です。

②次のとおりにお申し込みください。

・市役所総合案内窓口にて設置の受付箱へ投函

・円陣PV事務局へFAX/e-mail/郵送

申込締切日 4月21日(月) 必着

定員になり次第、申込み終了としますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先 円陣PV事務局

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町1シルクセンター4F (株式会社横浜アーティスト内)

電話：045(232)4924 FAX：045(681)3735

e-mail：enjinp0615@y-artist.co.jp

対応時間：平日 午前10時～午後5時(土日祝日を除く)



■ 生涯学習のつどい開催される

2月16日（日）市役所にて、茨城大学生涯学習教育研究センター准教授の長谷川幸介氏を講師に招き、講演会「支縁社会と生涯学習～『4つの縁』と幸せの戦略～」が開催されました。

「生涯学習のつどい」は、生涯学習に対する市民の機運を高め、人づくりや絆についてあらためて考える機会とするもので、震災後、初めての開催となりました。長谷川氏による、楽しくも絆について考えさせられる講演会は大盛況の内に幕を閉じました。

また、当日は、講演に先立って教育表彰が行われ、横田地域農村景観を考える会・会長及川脩氏と長年にわたり本市の社会体育に貢献された菊池政雄氏が表彰されました。



教育表彰



長谷川幸介氏による講演会

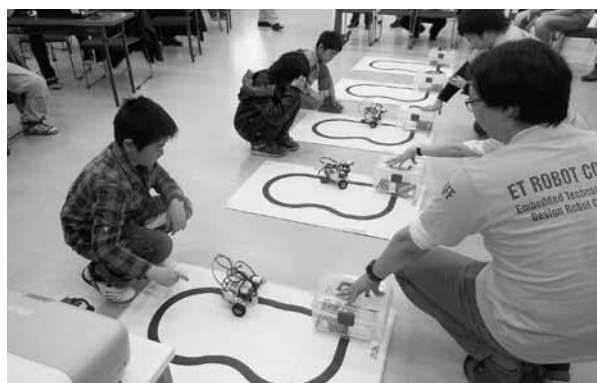
■ 家族ロボット教室を開催

2月23日（日）、市役所で家族ロボット教室が開催されました。（株）富士通コンピュータテクノロジーズとの共催により、ロボット作りを通して子どもの理数離れを食い止め、科学やものづくりに興味をもってもらおうと、午前、午後合わせて11組の家族が参加しました。

ロボットの組み立てから始まり、トレーナーにアドバイスをもらいながらカーブを走らせたり、センサーを使用して動きをコントロールするといった動作をプログラミングした後、黒い線が引かれたコースを使ってタイムを競い合いました。参加者たちは、1秒でも早く走らせるために試行錯誤を繰り返し、家族やトレーナーと協力しながらプログラムに改良を加えるなど、あっという間の3時間でした。



ロボット製作の説明を受ける参加者



より早く走らせるために試行錯誤

■ 託児ボランティアを募集します

市教育委員会では、子育て中の方の学習会等への参加を支援するために託児付き事業を開催しており、その際に子どもの託児をしていただける人を募集しています。子どもが好きな18歳以上の人であれば、資格や性別にかかわらず、どなたでも申し込みできます。託児の協力は、都合の良い日程のみで構いません。多くの皆さんの応募をお待ちしています。



ボランティアの内容

①乳幼児学級の際の託児

乳幼児学級（0歳～3歳くらいまでのお子さんの子育て等について保護者が学ぶ学級）を保護者が受講している間、別室で子どもと遊ぶなど、危険が生じないようにお世話していただきます。

・時期／時間：5月～11月までの間で計5回程度

金曜日の午前9時30分から11時30分頃まで

・会場：竹駒コミセン

②講演会の際の託児

乳幼児の保護者を対象に講演会を開催している間、別室で子どもと遊ぶなど、危険が生じないようにお世話していただきます。

・時期／時間：5月～2月までの間、不定期に開催（平成25年度は4回開催）

託児時間は1時間半程度

・会場：未定

詳細につきましては、申し込み後、あらためて連絡します。

保険 ボランティア行事保険に加入していただきます（市負担）

申込締切日 4月25日（金）

問い合わせ／申込先 生涯学習課（内線256）

※直接または電話でお申し込みください。

～中沢浜貝塚歴史防災公園整備事業～

2月24日（月）に中沢浜貝塚歴史防災公園整備事業に係る第2回整備指導委員会が行われました。聞き取りなどにより約1年間にわたって地域住民などから頂いてきた意見内容を取り入れた検討が終了し、3月には中沢浜貝塚歴史防災公園整備事業について報告書としてまとめました。

教育委員会では、今後も市唯一の国指定史跡であり、地域の宝である中沢浜貝塚の史跡整備を続けていきたいと考えています。



日頃の健康増進に生かしましょう

東日本大震災健康調査結果

本市と岩手医科大学が共同で実施している東日本大震災健康調査「RIAS（リアス）」は、平成23年度に始まりました。平成25年度は3261人（本市の成人の4人に1人）が受診しています。健診結果は次のとおりです。

人とのつながり

岩手県では平成17～18年度に、花巻市大迫町で調査が行われていました。そのときには、12点未満の人が19・4%でした。そのほかの地域でもだいたい20%以下と言われています。しかし、陸前高田市では12点未満の人が約3割いました。こうした傾向は、大槌町や山田町でもみられました。震災があったことにより、家族や友人との関わりが減ってしまったのかもしれない。

たことがあるのかもしれない。地域全体で、人とのつながりをつくっていくことが大切です。人とのつながりは、地域づくりや健康づくりにも良い影響をもたらします。「最近、人とのつながりが減っているかもしれない」と感じている皆さん、地域の行事などを活用して、人とのつながりをつくっていきましょう。

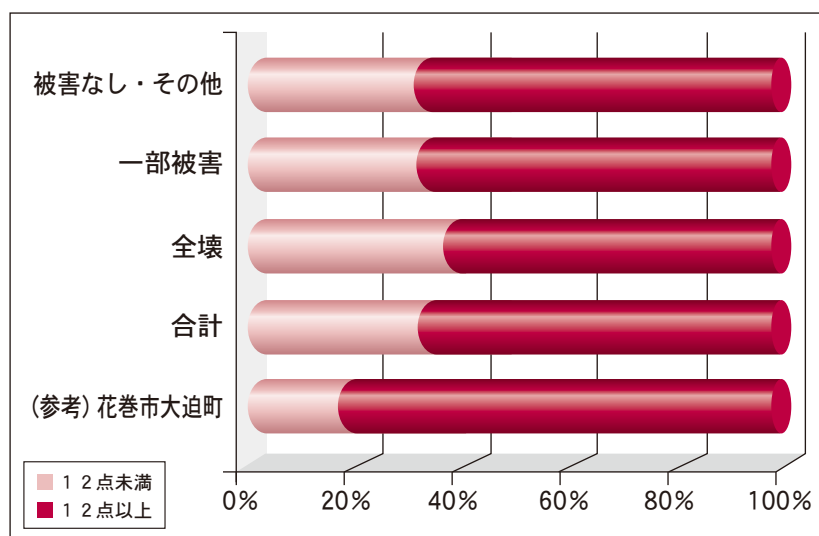
家屋被害を受けた住民と受けなかった住民とは、人とのつながりの多さが異なるかを調べましたが、ほとんど差がありませんでした。家屋被害を受けなかった地域でも、連絡を取り合う人が減ったり、遠慮してお手伝いを頼まなくなったりといっ

家族や友人とどのくらいのつながりがあるのか（ソーシャルサポートネットワーク）を調べました。



■ソーシャルサポート

12点未満の場合、社会的な孤立が心配される



※花巻市大迫町の232人が回答。回答者の平均年齢は67.7歳（男性34.5%）
（日老医誌2011；48：149-157）

厚生労働科学研究費補助金

（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

『岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究』

《RIAS事務局》〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1

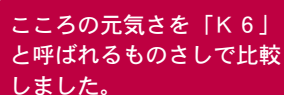
岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座

TEL 019 (908) 8007 FAX 019 (908) 8008

問い合わせ先

不眠について

震災直後の平成23年度は5点以上が4割以上を占めました。平成25年度は約3割に減っており、改善の兆しが見られました。しかし、まだまだ大変な思いを抱えている人がいます。中でも自宅が損壊した人には、こころの元気を失っている割合が多いことがわかりました。

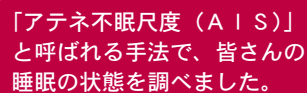


1 3点以上 医師に相談をしましょう

また、心配ごとや悩みごとがあつて眠りづらくなっている人もいるかもしれません。

とをしたりするのはよくありません。布団に入って10分以上（高齢者では20分以上）眠れなければ、床から離れて気分転換を試みましょう。

・眠るためにお酒を飲むのも体によくありません。眠れない日が続いたら医療機関に相談しましょう。



10点以上 すぐに医師に相談をしましょう

気仙風土記

地名と歴史

(104)

― 高田かいわい① ―

金野 静一・文
斎藤 多美子・絵

「気仙風土記」を再開します。10年間、月に1回ずつで、120回になり、ちょうど本1冊分になります。震災前には、5冊発行していました。「地名と歴史」は、今泉・長部が終了し、あと残るは高田のみとなります。よって、再開は、高田の「地名と歴史」から始めます。

相原友直著の『気仙風土草』には、高田について「高田にこれ神田なり。上野にあり。村名、この田に基づくと言えり」とあります。上野はウエノではなく、「ウフノ」です。今は、和野と記す場合が多くなりました。

もともと館の沖を含む「高田平野」は、気仙川によってできあがった「三角州」で、高田・気仙の二つの町にまたがり、海岸近くでは珍しいほどの広さを持つ水田地帯です。

ですが、この低い地域の水田地帯を、なぜ「高田」

という地名にしたのでしょうか。

実は、前にも述べたように、低地の高田平野ではなく、高地の「上野」が、その元になったのです。

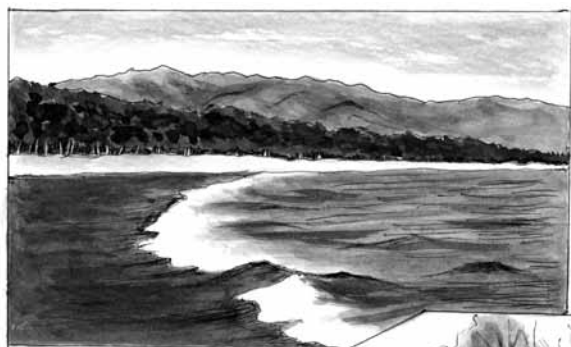
その昔は、和野川を称する和野から川原を通じて海に注ぐ川を用水として水田が開拓され、そこに「氷上神社」の神田がありました。

つまり、「上野の神田」、高い所にある神田から「高田」という地名が生じたというわけです。

水田をひらくには、河川近くの低い所に平原ができ

やすいので、ここに水田を造成する試みがいたる所で行われました。だが、山の麓の小平野に、沢水や小川の水を引いて作る田の方が、ずっと手早く、かつ簡単にできました。

和野川を利用してできた



有り日の松原より臨む氷上山
―市資料より―



氷上神社

神社入口



神田―高田は、そのもっとも良い例であったと思います。大きな川の流域に、水田が造成されるようになったのは、大型の用水路や堤防を築いたりすることが可能な時代、すなわち土木技術が進んでからのことであつたと思われます。

高田の北に「氷上山」があります。標高874メートルで、またとない美しい山容を誇る姿を見せています。

「オヒノカミ」が通称で

「御陽之神」と伝えられています。

しかし、氷上は、実は「日高見」であると唱える人がありました。

これは、もと「日高見神社」であつたとする考えです。

「日高見国」は、古くは「常陸風土記」に出てくる国名で、ここでは「東方の国」、転じて「未開の民のいる国」「東の奥の国」などを意味するようになったと言われます。

気仙郡は、海道夷の住み家とされた時代がありました。海道夷の「夷」は、「ヒナ（蝦夷・えみし）」の住む所で、そこはヒダカミ（日高見）と通称されたのです。

ちなみに「日高見」という名称は、中央の勢力が奥羽地方にも及んできますと、日高見も次第に北へ北へと、その通称も進んでくることになりました。

奥羽地方には、ヒダカミの名が諸所に保存されていますが、それらの地は、もとはみな「日高見」の国とされたので、それが今日に至ってもいろいろな形で残っているのでしょう……。

住宅再建に係る補助制度の申請期限を延長しました

東日本大震災の被害による居住住宅の補修・改修、居住用宅地の復旧をする際の補助制度について、申請期限を平成31年3月31日まで延長しました。

被災住宅債務利子補給補助金（補修）

対 象 者	震災により、自ら居住していた住宅に被害を受けて、「リ災証明書」の交付を受けた人で、自ら居住する住宅の補修（改修および増改築含む）を行うために必要な資金を平成23年3月11日以降に金融機関等から借り入れた人、またはその家族
補 助 金 額	当初5年間の利子額（借入額640万円、利率1%が上限） ※半年ごとの償還交付

被災住宅補修等工事費補助金

対 象 者	震災により、自ら居住していた住宅に被害を受けて、「リ災証明書」の交付を受けた人で、自ら居住するための住宅の補修または改修を行う人、もしくはその家族																					
対 象 工 事	① 補修工事（半壊または一部損壊の住宅が対象） 市の「応急修理制度」を利用していない住宅の10万円以上の補修工事 ② 改修工事（全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊の住宅が対象） ・耐震改修工事…現在の耐震基準を満たさない住宅を適合させる工事 ・バリアフリー改修工事…手すり取り付け、床段差の解消、すべり防止等のための床材の変更、引き戸等への扉の取り替え、洋式便器等への便器の取り替え ・県産材使用改修…県産の木材を0.5㎡以上または1㎡あたり0.04㎡以上使用した改修および増改築工事																					
補 助 金 額	対象となる工事費の1／2以内の金額で、下表の金額が上限 <table><tr><th colspan="2">対象となる工事</th><th>補 助 上 限 額</th><th>対 象 工 事 費</th></tr><tr><td rowspan="2">補 修</td><td>半 壊</td><td>52万円</td><td>104万円</td></tr><tr><td>一 部 損 壊</td><td>30万円</td><td>60万円</td></tr><tr><td rowspan="3">改 修</td><td>耐 震 改 修</td><td>60万円</td><td>120万円</td></tr><tr><td>バリアフリー改修</td><td>60万円</td><td>120万円</td></tr><tr><td>県産材使用改修</td><td>20万円</td><td>40万円</td></tr></table> ※対象工事の組み合わせにより工事した場合、それぞれの補助金を交付	対象となる工事		補 助 上 限 額	対 象 工 事 費	補 修	半 壊	52万円	104万円	一 部 損 壊	30万円	60万円	改 修	耐 震 改 修	60万円	120万円	バリアフリー改修	60万円	120万円	県産材使用改修	20万円	40万円
対象となる工事		補 助 上 限 額	対 象 工 事 費																			
補 修	半 壊	52万円	104万円																			
	一 部 損 壊	30万円	60万円																			
改 修	耐 震 改 修	60万円	120万円																			
	バリアフリー改修	60万円	120万円																			
	県産材使用改修	20万円	40万円																			

被災宅地復旧工事費補助金

対 象 者	震災で被害を受けた自己の居住用宅地の所有者、管理者または占有者およびその同居の家族
対 象 工 事	震災により被害を受けた宅地の安全性を回復するために必要な次の復旧工事等 ① のり面の保護 ② 擁壁・地盤等を維持するための排水施設の設置 ③ 地盤の補強および整地 ④ 擁壁の設置および補強（旧擁壁の除去を含む） ⑤ 地盤調査および設計調査費 ※20万円未満の軽微な工事を除く
補 助 金 額	補助対象となる工事費の1/2以内の金額で、1宅地あたり200万円が上限

上記補助金のほかにも、バリアフリー住宅、県産材使用住宅を新築したことに対する補助金（復興住宅新築等支援事業費補助金）や、新規住宅ローンを組んだ際の被災住宅に係る既存住宅ローンの利子補給補助金（被災住宅債務利子補給補助金）についても、申請期限を平成31年3月31日まで延長しています。

詳しくは、被災者支援室（内線340、341）まで。

対戦相手は 香川県多度津町 に決定

毎年5月の最終水曜日は、世界中で実施されている住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の日です。1日のうち15分間以上、体を動かした住民の割合（参加率）を競います。

今年は5月28日（水）に開催され、対戦相手は香川県多度津町（人口23,815人）です。対戦で敗れた自治体は、勝者に敬意を表し、庁舎に相手の旗を1週間掲げます。

本市は、平成11年から参加し、今年で15回目となります。過去の戦績は、6勝7敗（2012年はオープン参加）。昨年は、13,737人（人口20,710人のうち）が参加し、66.3%の参加率で、勝利することができました。今年も勝利し、多度津町に陸前高田市の旗をなびかせ、健康のために体を動かしましょう。



【香川県多度津町】

香川県の中部に位置し、古くから海上、陸上交通の要所として栄える。近年は臨海土地造成事業を行い、近代工業都市へ変貌している。

また、少林寺拳法の総本山・総本部である金剛禅総本山少林寺では、子どもからお年寄りまで世代を超えて健康づくりが親しまれている。

チャレンジデーへの参加は今回で16回目。

「陸前高田市障がい者福祉計画及び障がい福祉計画策定委員会の公募委員」を募集します

市では、高齢者や障がい者などのハンディキャップを持つ人と持たない人との支えあいがある普通のこととして行われ、地域の中でハンディキャップを意識することなく、人生をいきいきと送ることができるような「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」の実現を目指しています。

そのために、市では「陸前高田市障がい者福祉計画」と「陸前高田市障がい福祉計画」を定めているところですが、現在の計画は、平成24年度から26年度のものであることから、平成26年度中に「陸前高田市障がい者福祉計画及び障がい福祉計画策定委員会（仮）」を立ち上げ、平成27年度から29年度までの計画を新たに策定することとしています。

つきましては、平成27年度からの計画に、より多くの人の意見を反映させるため、策定委員会に参加し、ご意見やご提言をしていただける委員を募集します。

応募資格 本市の障がい福祉に関心があり、平日の日中に市役所で開催する会議に出席できる人

募集人数 2人

任期 委嘱の日から3年間

応募期間 平成26年4月4日（金）から4月21日（月）まで【必着】

応募方法 次の書類を持参または郵送にて提出してください。

①所定の応募用紙

②小論文（1,200字まで）【任意様式】

テーマ「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくりについて」

応募／問い合わせ先 陸前高田市民生部社会福祉課障がい福祉係
〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石42番地5
電話0192（54）2111（内線231）

※応募用紙は、社会福祉課窓口で用意しています。また、市ホームページからもダウンロードできます。
※障がい等により応募用紙や小論文の記載ができない人は、ご相談ください。

● 第一中学校敷地内で診療しています ●

岩手県医師会高田診療所

4月の診療日程

岩手県医師会では、第一中学校体育館西側に診療所を開設しています。4月の診療日程は下表のとおりです。

期 日	診療（受付）時間	診 療 科
4月 5日（土）	15:00～18:00	内科系、外科系、小児科、心療内科
4月 6日（日）	11:00～16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
4月12日（土）	15:00～18:00	内科系、外科系、小児科、心療内科
4月13日（日）	11:00～16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
4月19日（土）	15:00～18:00	内科系、外科系、小児科、心療内科
4月20日（日）	11:00～16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
4月26日（土）	15:00～18:00	内科系、外科系、小児科、泌尿器科、心療内科、子どもの心
4月27日（日）	11:00～16:00	内科系、外科系、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、心療内科
4月29日（火）	11:00～16:00	小児科

診療科は、日によって異なります。また、都合により変更になる場合があります。

5月11日（日）午後1時30分から4時まで、高田診療所駐車場において、岩手県眼科医会による無料の眼科健診が行われます。当日は、眼科医師とともに眼科専用健診車が来るので、精度の高い健診が期待できます。受診を希望する人は、電話により高田診療所へお申し込みください。

● 岩手医大による皮膚科診療（遠隔診断）日程（場所：岩手県医師会高田診療所） ●

毎週水曜日の午後に、岩手医科大学が皮膚科の診療を行っています。これは、岩手医大と高田診療所を遠隔診断システムで結び、テレビ画面を通じて診療を行うものです。当面は、両医療機関に皮膚科の専門医師が配置されますので、精度の高い診療が期待できます。

期 日	診療（受付）時間	診 療 科
4月 2日（水）	15:00～17:00	【要予約】午前10時から電話予約の受付をします。
4月 9日（水）		
4月16日（水）		
4月23日（水）		
4月30日（水）		

※要予約 ○直接または電話 土・日曜日の診療（受付）時間 ○電話のみ 水曜日 午前10時～
詳しくは、高田診療所 ☎（53）2110まで。

ウィーン・フィルのメンバーらによる演奏会

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンふれあいコンサート

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーらを中心に特別編成された世界最高水準の室内オーケストラ「トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン」によるコンサートが市内米崎町の普門寺で開催されます。

当日は、オーケストラのメンバーらが、東北復興への思いを音楽に乗せて地域の皆さまへお届けします。この機会にぜひご来場ください。

日時 4月13日（日） **開場** 午前10時 **開演** 午前10時30分 **終演** 午前11時30分

場所 海岸山普門寺

入場料 無料

プログラム ウェーバー◆舞踏への勧誘／ブラームス◆交響曲第2番より“スケルツォ”／ヨハン・シュトラウス2世&ヨゼフ・シュトラウス◆ピッツィカート・ポルカ／ヨハン・シュトラウス2世◆観光列車、エジプト行進曲 ほか

注意事項

- ・駐車台数に限りがありますので、当日はなるべく乗り合わせでお越しください。
- ・会場の定員を超えた場合や開演後の入場はお断りさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・靴を保管する場所がないため、各自靴入れ（ビニール素材はご遠慮願います）をご用意ください。

問い合わせ先 トヨタ・マスター・プレイヤーズ事務局 ☎03（5210）7555



3歳6か月児健診から
◆平成26年2月健診分②



さいじょう はる ちゃん



おのでら けいか ちゃん

4月1日から消費税8%

消費税引き上げによる
公共料金について

平成26年4月1日から消費

税が8%に引き上げられます。

水道および下水道料金は、使用した月の翌月に請求することから、4月分の使用として請求する5月分から消費税が8%となります。

なお、水道の分岐手数料については、4月1日以降の工事申請から消費税が8%となります。

問い合わせ先

・水道料金等…水道事業所業務係（内線421、422）
・下水道料金…都市計画課下水道係（内線412、413）

健康推進課から

平成26年度後期高齢者医療保険料率の改定

後期高齢者医療制度の保険料率は医療費の増加などを考慮し、2年ごとに見直します。平成26、27年度の新保険料率が次のとおり改定されました。

・所得割率7・36%（現行6・62%）
・均等割額3万8000円（現行3万5800円）

岩手県では制度開始以来初の改定となります。

また、中低所得者の負担軽

減を図るため次のとおりの措置が講じられました。

①現行55万円である賦課限度額を57万円に引き上げ
②均等割額の2割軽減、5割軽減の対象者を拡大

平成26年度の年間保険料額については7月に通知書を送付します。

問い合わせ先

健康推進課 国保係（内線140、141）

参加者募集！

岩手県障がい者スポーツ大会

岩手県障がい者スポーツ大会が開催されますので、参加を希望する人は事前にお申し込みください。

日時 6月7日（土）開会式 午前9時〜※競技開始時間は種目ごとに異なります。

会場（競技種目）
・岩手県営運動公園（開・閉会式、陸上競技、フライングディスク）

・ふれあいランド岩手（アーチェリー、卓球、サウンドテーパーテニス、水泳）
・ビッグハウススパーレーン（ボウリング）

参加資格 平成26年4月1日現在、満13歳以上の身体・知的・精神障がい者で、岩手県内に居住地を有する者※身体障がい者については、身体障害者手帳の交付を受けている者

申込締切日 4月16日（水）
申込／問い合わせ先 社会福祉課障がい福祉係（内線232）

参加者募集！

第5回東北子どもまちづくりサミット

子ども支援の国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」は、復興のまちづくりについて子どもたちと大人が一緒に考える「第5回東北子どもまちづくりサミット」を開催します。

また、陸前高田市子どもまちづくりクラブでは、復興について自らの思いを写真で発信する「進め！高田つ子！まちづくりフォト☆」、子どもたちの声を市長に届けて復興に生かす「進め！高田つ子！まちづくりトーク☆第2弾」について発表します。

日程 5月5日（月・祝）
・第1部 子どもまちづくりクラブの活動報告 午前10時

10分〜正午
・第2部 参加者同士でよりよいまちづくりに向けての話し合い 午後1時〜3時
※5月4日〜6日の2泊3日（移動含む）6日は石巻市子どもセンターで子ども同士の交流会を実施予定

場所 仙台国際センター
対象 小学5年生以上なら誰でも参加できます。
参加料 無料※往復の交通手段、宿泊費、保険料はセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが負担
申込締切日 4月16日（水）
申込先 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン ☎0198（68）3012（担当：平瀬）
メール soft-summit@savechildren.or.jp

県内での就職を応援します！
いわて就職面接会

県内での就職を支援するため、ふるさといわて定住財団および岩手県による「いわて就職面接会」が開催されます。※予約、履歴書は不要
日時 4月19日（土）午後1時〜4時半（受付 正午〜午後4時）

五目ほうれん草

食改
レシピ



材料（2人分）

・ほうれん草	90g
・油揚げ	10g
・人参	10g
・干しいたけ	5g
・姫ひじき	5g
・サラダ油	小さじ1/2
・しょうゆ	小さじ1/2
・塩	少々

■ 作り方

- ① ほうれん草をゆでて水にさらしてしぼり、2cm長さに切る。
- ② 油揚げは湯抜きをし、縦2つに切ってせん切りにして固くしぼる。
- ③ 人参はせん切り、干しいたけは戻してせん切りにする。
- ④ 姫ひじきは戻して水気をきる。
- ⑤ フライパンを油で熱し、②をカラッとなるまで炒め、③④を入れてさらに炒め、しょうゆ、塩で調味する。
- ⑥ ほうれん草に⑤を加え、混ぜる。

一言メモ

・ほうれん草は古くからパワーアップ野菜として知られていますが、それは鉄分をはじめ、カロテン、ビタミンB群、ビタミンCなどが多く含まれているからです。貧血予防や風邪などの感染症の予防に効果的です。

＝財団法人 日本食生活協会「食生活改善推進員教育テキスト」より＝

陸前高田市食生活改善推進員協議会考案レシピを毎月紹介します！

各地域において「食」を通して健康づくりの輪を広げている市食改ですが、30周年の記念として平成24年度に料理集『絆』を発行しました。

郷土料理をはじめ、陸前高田市で手に入れることのできる食材を活用したアレンジレシピや新たに考案したレシピがぎっしり詰まった料理集となりました。

その料理集から、地域の皆様に食改の活動を知っていただく意味合いも込めて、昨年度に引き続き、毎月1品ずつ料理を紹介していきます。毎日の食事の参考に、また、これをきっかけに『食』に興味を持っていただければ幸いです。

食生活改善推進員協議会って??

“私達の健康は私達の手で”をスローガンに、食を通した健康づくり活動を行っているボランティア団体で、全国1,482市町村に市町村協議会組織を持っています。食改は、地域住民に対する生涯を通じた食育の推進、健康づくりの担い手として明記され、活躍がますます期待されています。

詳しくは、健康推進課保健係（内線243）まで。

数字で見る陸前高田市

市内の火災救急活動（2月）

（ ）は1月からの累計

◆建物	1件（2件）
◆林野・その他	0件（0件）
◆出動件数	64人（132件）
◆搬送人員	65人（129人）

市の人口（2月28日現在）

◎住民登録人口（ ）内は前月比

男	9,921人（－5）
女	10,604人（－11）
計	20,525人（－16）
※前年同月との比較（－162）	
世帯数	7,556世帯（1）

市内の交通事故（2月）

大船渡警察署調べ。（ ）は1月からの累計

◆人身事故	4件（8件）
◆物損事故	43件（99件）
◆負傷者	3人（7人）
◆死亡者	1人（1人）
◆飲酒運転	0人（2人）

◆編集・発行◆ 陸前高田市企画部まちづくり戦略室 〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字鳴石42番地5 ☎0192(54)2111(内線173)
ホームページ <http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp> Eメール senryaku@city.rikuzentakata.iwate.jp